

あかね会新年会の開催

1月25日(土)の12時から八王子エルシーで、令和7年のあかね会新年会が開催されました。

あかね会の活動は母校の支援のほか、会員の親睦を深めるため、5月の定期総会のほか新年会を開催しています。2020年以降、新型コロナウイルス感染症により新年会が中止となりましたが、前年、4年ぶりに再開しました。本年は復活2年ぶりでコロナ禍の影響もあり、参加者が22人と少なめでした。今回は、学校、PTAのご来賓を迎え、和気あいあいとした新年会となりました。

入沢修自副会長(平成5年卒業)の進行で始まり、冒頭、浜中賢司会長(昭和44年卒業)の挨拶がありました。学校・PTA関係者のご出席の御礼のあと、中等教育学校卒業生の目覚ましい進路状況を称え、同窓会として生徒活動を支えたい。同窓会交流行事は、なるべく負担が少なく継続を図りたいとの話がありました。



続いて、来賓の宮嶋淳一校長先生から挨拶をいただき、まず同窓会の学校支援への御礼が述べられました。学校運営では、南魂祭の文化祭で「あかね屋」が久々に出店いただいたほか、来場者が前年より4割以上増の7千名となり、特に小学生が楽しそうな表情だったのが印象的だった。生徒指導も「苦しくてもやりきる」生徒の育成を目指しているとの話がありました。



次に、滝島徳久PTA会長からご挨拶をいただき、日頃の御礼のあと、保護者として2年間良い経験をさせていただいた。部活動も全国レベルの活躍であり、特に太鼓部は今年の香川県総文全国大会(丸亀市)に参加する。

宮嶋校長は学校改革に取り組み、世界で羽ばたく生徒育成を目指していると報告がありました。

次に、乾杯の発声を常任委員の齋藤博志氏(昭和50年卒業)にお願いし、ご挨拶のあと乾杯の発声がにぎやかに行われ、懇親に入りました。



1時間を過ぎた頃、「新春インタビュー」が行われ、初めに学校の桂優子副校長先生、PTAの川本洋輔氏からひと言いただきました。桂副校長先生から、3月に卒業する10期生はあかね会に140人弱が入会するとの報告がありました。

次に、参加者からひと言をいただき、それぞれの近況や今年の抱負などが語られました。新年会に初参加の中野幸治氏(昭和52年卒業)から、「来年の卒業50周年に向け同期会を企画している。会報や同窓会ホームページに役員募集の案内を掲載いただきたい」と要望がありました。続いて、参加者から近況報告等がありました。



終わりに近づき、最年少の松葉優樹常任委員(平成24年卒業)、田中ミホさん(昭和35年卒業)の音頭で校歌斉唱となり、結びに中村晋也副会長(昭和53年卒業)から閉会の言葉が述べられ、お開きとなりました。